

建設不動産部会報

第3号



設立一周年を迎えて

— 新しい活動に挑戦 —

部会長 庄 司 光 克

早いもので、当部会も設立一周年を迎えました。部会員の皆さんの御支援と、昭和会幹事の諸先輩の御力添をいただいて、組織の面でも、活動の面でも、初年度としては、予期以上の成果を挙げる事ができまして、たいへん慶ばしく、心から謝意を表する次第でございます。

一年間の活動を通じて、部会員の方々の面識度合が深まって来たこの段階を狙って、今年度は会合だけではなく、少々内容の充実を計って行きたいと思っております。

これは部会が催す集りで、人を知って得られることの効用を、個人ベースの動き得る範囲から、組織を活用して、更に拡大しようと考えましたことで、所謂、部会を仲立ちとする“情報交流システム”の設立とその利用であります。

このような新しい試みは、部会員の皆さんの御理解と御支援をいただかなければ実現できません。しかし、今回の企画は、皆さんの潜在的なニーズに着目し、御協力に対して必ずそれ相応のお返えしが差し上げられるように、運営面での工夫を加えて、実施して行きたいと思っております。

具体的な内容、方法等については、当会報に掲載いたしますが、当面、一年間の活動のひとつの柱と考えております。“みんなで育て活用する”ということをもっと一に進めたいと思っておりますので、よろしく願い申し上げます。

以上、新しい活動の方針に触れて申し上げましたが、本年度も倍旧の御支援御協力を賜りますようお願いして、挨拶とさせていただきます。

<昭和59年度活動報告>



59. 4. 21 設立総会 於 東京プラザビル
出席者52名
59. 5. 16 役員会 於 清水建設
出席役員12名により、設立総会の反省を行うと同時に今後の部会活動の計画を検討しました。
59. 7. 17 役員会 於 お茶の水「銀座アスター」
出席役員8名により、8月8日の納涼懇親パーティーの打合せを行いました。
59. 8. 8 納涼懇親パーティー 於 ホテル「グランド・パレス」
会員相互の親睦の輪を広げる目的で名刺交換会、福引き等も行われ、初めて出席された方からも、「素晴らしい会だ。今後が楽しみです。」との声が盛んに聞かれました。
出席人数約60名。
59. 9. 17 役員会 於 パッキンガム
納涼懇親パーティーの反省を行うと同時に、昭和会総会への協力方法を検討しました。
出席8名。
59. 10. 22. 明大昭和会総会 於 サンケイ会館
当部会より、庄司部会長の挨拶があり、盛んな声援を受け、その場で数人の入会希望者が現れました。
又、当日の実行委員長には久田副部会長が、第1部のマンドリン演奏の司会には三橋企画部長が協力されました。
59. 11. 5 役員会 於 じゅりん
新年賀詞交換会をホテルグランドパレスで行うことに決定。講談家の宝井琴鶴師匠(34文)を招請。出席者7名。
59. 11. 30 役員会 於 鈴木不動産
新年賀詞交換会における次第を検討出席者7名。
60. 1. 16 役員会 於 鈴木不動産
新年賀詞交換会の打合せ。
60. 1. 23 新年賀詞交換会 於 九段「グランドパレス」
講談 宝井琴鶴師匠(34年、文)明席会々員
鏡開き、新年福引大会 出席者67名。
60. 3. 14 役員会 於 鈴木不動産
第2回総会の打合せ。
60. 3. 26 役員会 於 鈴木不動産
総会及、会報3号の準備

5 9 年 度 決 算 報 告

収 入 の 部	収 出 の 部
(1) 59年度部会費 255,000円	(1) 通信費(切・封筒代等) 62,340円
(2) 設立総会会費 94,000	(2) 名簿印刷費 67,400
(3) 納涼パーティ会費 357,500	(3) 事務用品, 写真代等 12,850
(4) 60年新年賀詞交換会 462,000	(4) パーティ費 899,780
(5) 雑 収 入 3,530	(5) 講 師 謝 礼 60,000
(6) 利 息 1,580	(6) 雑 費 15,700
(7) 前 受 金 (60年度会費) 60,000	(7) 次 期 繰 越 金 115,540
計 1,233,610円	計 1,233,610円

※ 別途に新年賀詞交換会でのオークション売上代金28,750円が有ります。

上記のとおり報告致します。

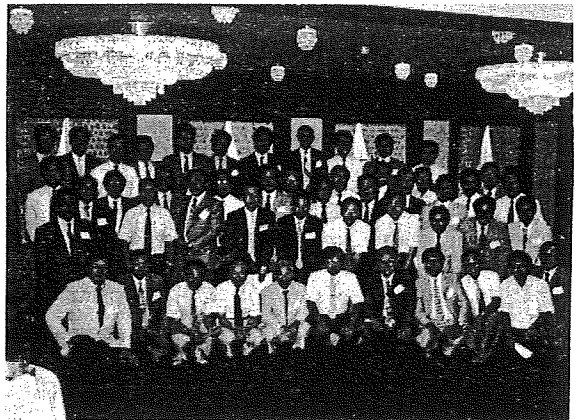
昭和60年3月31日

財務部長 兼 松 絃一郎

*
* 60年度会費納入のお願い *
*

本会もいよいよ2期目をむかえることになりました。
初年度は85名の会費納入者があり、部活動の大きな
ささえとなりました。今期もますます活動の巾が拡が
ると思われまますので是非会費納入に御協力下さい。す
でに60年度分の会費を納入されている方もありますが
が、未納の方は下記へお振込下さい。なお、総会に御
出席の方には当日徴収させていただきますのでよろし
くお願いします。

第一勧業銀行新宿西口支店 年会費 3,000円
普通預金 062-1703889 明大昭和会建設不動産部会



新しい企画



“部会員相互の 情報・交流システム”

— 構想概要説明 —

○ 趣 旨

部会員の皆さんが、仕事の関係や、場合によっては個人的なことで、新製品とか業務のノウハウの紹介、また、土地・建物・物品・会社・団体・趣味・スポーツ・集会・人等々、自分が欲しいこと、反対に自分もっているものや知っていることを、利用してもらいたくて、部会員の協力を求めたい時、部会が情報仲介の労をとろうということを考えました。

これは、部会の活動が、会合だけに偏ってしまって、上記のようなことは個人の社交性に期待するという、通常どこにもみられる消極的な行き方から脱皮して、敢えて、部会の機能として採り上げ、具体化に挑戦するものです。

このような情報の需給関係を取扱うことは、なかなかむづかしいことが予想されますが、部会の地盤を引き上げ、より一層の結束と緊密化を強めることを最大の狙いとしています。

○ 取扱い方法の概略案

1. 情報の取扱い業務は、当面部会事務局とする。但し、情報量の増大等、状況によって取扱い部局を設ける。
2. 部会員は情報需給の必要が生じた時、その内容を部会事務局に提供する。
3. 提供された情報の伝播は、部会報、会合時の広報活動等の他、ストック情報を利用した、個人的要望への対応を考えたい。
4. 取扱う情報の内容は、需給の量とニーズの傾向が判別するまで、当分限定しない。また、部会が取扱える情報には、内容・規模・範囲等、限界があるので、将来取扱い基準を設定するが、当面は実践的に判断する。

なお、近い将来、他部会との交流が活発になれば、情報範囲の拡大が期待できるので暫く様子をみたい。

5. 情報の受付は、郵送又は持参とする。

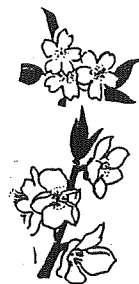
受付先

〒151 東京都渋谷区代々木2-10-10

㈱ 鈴木不動産内

明大昭和会建設不動産部会

TEL 03(370)8458



なお、情報提供の書式等は限定しないが、情報提供者の住所・氏名・連絡先は明記すること。

また、整理の都合上、提供する情報の内容を簡潔に示す“題目”をつけ、情報需給の区分を付記すること。

6. 提供された情報の利用度について、定期的にその効果を調査し、以後のシステム改善に役立てる。
7. 4月開催の総会で、内容、方法等について、意見、提案を求め、これを参考に本格的な実施に移す。

なお、当部会報に事例として、情報提供をお願いしたものを掲載しましたので、御覧の上、総会での活発な御発言をお願いします。



60年度活動計画

- 4月 総 会
- 6月 勉 強 会
- 8月 「パーティー」於グランドパレス
- 10月 昭和会総会、勉強会
- 1月 賀詞交換会
- そ の 他

建設不動産部会への要望



アスカ商事不動産部

吉形 孟美 (46・工卒)

- 建設不動産部会を、直接的な仕事に結び付ける事は、仲々困難だと思う。
- 間接的に仕事に関連するもので、他力的な問題で、解決出来ない事柄を、そのノウハウを持った人や、そういう問題に強い人のアドバイスを得られる様に、部会で紹介してもらいたい。
- 大学の後輩の中にも研究室に残り優秀な研究活動をしている人材も多い。そのような人材をより良い環境で研究に打ち込めるようにバックアップを行い、母校の発展に尽せる部会にしたい。

「建設産業の経営研究」

建設経営センター専務理事

丸山 藤夫 (34・商卒)

日本の建設業界の大きさは、52・50・17の3つの数字で表わされます。最初の数字は、約52万の業者がいること、第2の数字は年間50兆円近い建設投資が行なわれていること。第3番目の数字は、国民総生産の17パーセントに相当する生産を上げていることを示したものです。

また、ひと口に建設業界といっても、大手のゼネコンから町場の工務店、プレハブ建築業、設備工事業、専門工事業と多岐に亘っており、関連産業では不動産業、設計事務所、建設コンサルタント、測量事務所、建設機械業者、建材業者といった広大な産業群をなしています。

これらの業種に直接にかかわっている明大昭和会のメンバーが、建設不動産部会を結成、合い集って相互研鑽することは素晴らしいことだと思います。

例えば、今から15年前の昭和46年に建設業界にかかわる経営コンサルタントたちが「建設産業経営研究会」をつくって、毎月第4日曜日の午後神田の学士会館に集まって、業界のいろいろの問題を取り上げてディスカッションしてきました。毎月休みなく続いています。今年2月は「建設労働の生産性について」、3月は「マンションのリフォームの積算方法」について勉強しました。ビジター制度もあり、会員以外の人でもテーマによって聞きたい方は会員の紹介で参加もできるようになっています。ご興味のある方は丸山までご連絡下さい。

部 会 に 入 会 し て



三 信 建 物 株
長 田

誠 (44・政卒)
46・法卒)

わが母校明治大学を卒業してこの3月でちょうど14年になります。この間OBの集りの校友会には何度か出席してきました。総会ではホテルニューオータニだけでしたが年配者が多くおどろきました。毎年4月に渋谷区役所で開催される明大渋谷区支部総会にも地元民としてこのところ参加していますが、やはり50、60代の先輩方が大半を占めているように見受けられます。これに反して昨年設立された建設不動産部会は、昭和生れに限られるとはいえ、働き盛りの40代が中心で我々中青年層にも参加しやすく今後が期待されます。本部会事務局長の鈴木正彦氏からのすすめで入会し、部会で感じたことなどを二、三提言したいと思います。

1. 顔写真入りの部会名簿の作成

2月の設立準備総会で初めて部会の会員名簿をいただいて以来、メンバーもふえ、名簿もりっぱになり、現在では4冊目になっています。会員も200人近くになり、今後増加する一方と予想されます。名刺をいただいた方でも名前と顔を覚えていない方もかなりいらっしゃいます。そこで思いきって手数と費用は少しかかりますが、顔写真入りの名簿作成を提案いたします。当部会は単なる親睦交友会ではなく、建設不動産の業務上、大いに活用されるべき団体と思われるからです。名簿上ではその他出身高校や趣味覧も新設したらどうでしょうか。また住所の電話番号の記入もれが目立ちます。

2. 部会運営への提案

4月の設立以来、昭和会への合流が2回あったが、部会だけの集りも8月と1月の2回だけでは少なすぎると思います。年4回ぐらいは開催していただきたい。1回はボウリング大会にしてもよいし、親睦と勉強会を兼ねた1泊旅行会も有意義です。土曜の夕方集り、翌朝から昼頃で解散するスケジュールなら参加しやすいと思われます。

次に会合の内容ですが、講師をよんだ勉強会形式を主体にすべきと考えます。本部会メンバーに講演してもらえば最適ですが、見あたらなければ建設省や都庁など公務員や明大法、工学部の先生方に依頼することになります。

また建設不動産業は広範囲な分野に及んでいますので、会員をいくつかの小部会に分けた方がさらに細かく勉強、討論でき、より効果的になるのではないのでしょうか。たとえばゼネコン、インテリア、設計、不動産などに分類して各々年1回程度の会合より始め、たまには早朝勉強会も参加したいものです。

以上長々と一会員として、ざっくばらんところを言わせていただきましたが、発足してまだ1年足らずの当部会のこれからの運営に何らかの参考にあればと筆をとりました。

“ 会 員 の 声 ”

横山不動産鑑定事務所

横 山 正 (40・法卒)

私は明大昭和会の建設・不動産部会に59年から入会した新参者ですが、別に不動産鑑定士の集りである「東京不動産鑑定士会」の事務局もやらされている関係上、会の運営を支える役職者のみなさんのご苦勞がわが身のごとく分ります。

我々会員は、部会がごく自然に運営されているように考えがちであります。一つの部会を開催するにも何日前から役員が集まって、会場の設定から進行方針の検討、会費決定などさまざまな問題を討議し、さらに通信事務を処理し、当日は開催前から会場で受付事務、集計事務等々の処理に追われ、後かたづけまで含めると、数人が手分けして行っても大変な労力を費すこととなるのです。

しかし、会や部会が成功裡に終ると、この労力も酬われ、胸をなでおろされることと思います。会を支えるこのような人々に感謝の気持を忘れず、会員1人ひとりが協力できることは協力して行くことにより、さらに発展して行くことと思います。われわれが親交の輪を拡げて行くことも1つの目標とされ、新年会や夏期セミナーといった魅力ある企画による催しもあることを「ニュース」で知りました。

利欲をはるかに超越したこのような催しには、人間的ふれあいの場としての親しみが感じられ、部会の継続的發展が約束されているものと思います。



「 設 立 に 参 加 し て 」

(株)三橋庭園設計事務所

三 橋 一 夫 (39・商卒)

昨年4月の設立総会以来、懇親パーティ、昭和会総会、賀詞交換会と大きな行事を各々、盛況の内にいながら、我ら部会の一年が過ぎ、早や2年目の総会を迎えようとしています。卒業以来、仕事に専念してきて、自分の周囲を見廻した時に、学校との接触がなく、残念に思っている時、昭和会への誘いを受け、部会設立の気運を知って積極的に飛び込んでゆき、先輩諸氏の尽力によって、部会の誕生を迎えた時には大変な喜びでありました。

この部会は単なる業界の親睦団体ではなく、もっと各員の仕事に直接、役に立つ会であるように、事務局、他役員が知恵を絞っております。各自の能力を最大に活かしながら、仕事の面で協力して、伸びてゆくよう願っています。ただ所属しているだけでなく、もっと自己をPRし、そ

して求めているものを明らかにして協力を請うようにして欲しいと思います。会が伸びてゆく為、又会員のプラスになる為には役員は努力を惜しみません。

振り返ってみますと、ここに至る迄の印刷物や名簿の作成など、事務局の苦勞には、今後の活動も含めて感謝したい。

昭和会を母体として、他の部会も盛んに活躍しています。部会間の交流も大に行い、更に先輩、後輩の輪を広げてゆきたいと願っています。繰り返しますが、この会は皆さんが何を必要とし、何を与えられるかを明確にして互いに情報と仕事のつながりを広げてゆくのを第一の目的としています。これから数年の間は、会員の増加と組織を確固たるものとする為の色々な企画をしますので、皆様の御参加をお願い致します。

自己PR

(仕事の内容) 個人邸、マンション、などの庭の設計と施工、屋上庭園などが増えてきています。その植木の管理方法や植え方等のノウハウ。

建物の設計をする際には是非、それを包む「緑」の設計も考慮に入れて欲しいと思います。作品は外部の植栽設備共々効果的に考えてゆくことが、作品をより活かすことになると思います。プランの段階では是非、声を掛けて載き度いと思っています。

庭に関すること、全般のノウハウ。



明大スピリット

株式会社 鴻池組東京本店不動産部

志村和久(40・商卒)

私は明大ワンダーフォーゲル部を首席(?)で卒業し、極めて一般的な明大生として、社会に飛びだしました。案の定『七つとせー何にも知らずに卒業して、世に出て恥かく〇〇生』となり、専門的な仕事になるといつも知識不足で恥のかきっぱなしでした。ただ頭丈な体のお蔭でどうやら20年間動めて来ることが出来ました。それに比較して最近入社して来る後輩達は、みな優等生であり、わが母校の学力向上を内外に示す喜ばしい現象であります。だがしかし何か物足りなさを感じるのです。

私は私なりに考えてみて、それは『活力』に今一つ欠ける為ではないだろうかと考えました。無論内容の無い空いばりする数え歌の〇〇生では困ります。実力プラス活力のある人間には、迫力があり、どうしても一目置かざるを得なくなります。私の教えられた明大スピリットは、あの名ラガー松尾に代表されるように『負けじ魂』— 中途半端はせずに徹底的にやりぬく根性であ

りました。

数え歌の〇〇生、頭でっかちの明大生だけでは、社会では通用しないと思います。充分に通
用する明大O・Bになる為には、明大スピリットをもって三育の修養を生涯続けなければならない
と痛感しております。

社会に通用する個性的な人材が多数輩出することにより、わが母校の名声、昭和会の隆盛並び
に建設・不動産部会の発展があり得ると考えております。

慶応・早稲田のO・Bには政財界で充分な活躍をしている人材が多数おります。一朝一夕では
成し遂げられない年輪の強みでしょうか。

追いつき追いこせではありませんが、わが母校を自他共に許す名門校にする為には学生・OB
が各々の立場で明大スピリットを発揮して時間をかけ努力しなければならないと思います。

最後になりましたが、わが部会を本当に発展させる為には、飲んで騒ぐ会、目先だけの利害
追求の会等では長続きしないと思います。又年1～3回の顔合せだけでは、仲々相互信頼の絆が
生まれず、実質的な情報交換は出来ないのではないのでしょうか。

—提案として、本部会々員の共通テーマ(21世紀における建設・不動産業の姿等々)を模索
し、その研究・発表を定期的、継続的に実施する。その中で会員個々の悩みや弱点をみんなで補
完し、強力な研究集団を目差す—このような方向付は如何でしょうか。

鶴機械リース(株) 田中嘉春(45・商卒)

当社は、舗装機械等のレンタルを行っています。機種としては、ローラーミニコンボ、コンプレッ
サー、タイヤショベル、ブルドザー、パワーライト等各種取り扱っておりますので、御利用下さい。

株式会社 渡辺商店 渡辺貢宏(34・商卒)

塗料の販売及び塗装工事、主に個人住宅、ビル、マンション等の外部吹付工事をやっております。
部会に加入して、母校との一体感を感じられました。よろしく。

司法書士 正木宏司(41・法卒)

昼間は、不動産登記手続を通して、皆さんに少しでもお役に立ちたいと真面目に努力していま
す。夜間は酔えば頼まれもしないのにグラスを叩き、阿波踊りをやりだす堀越高、法学部41年
卒の司法書士です。どうかよろしく。

(株)武田建商 武田武熙(35・法卒)

部長さん始め幹事さん達の御骨折で、沢山の会員の皆様に面識させていただいた事を心より御礼
申し上げます。今年は部会は個々にディスカッション等により意見の交換、情報の交換等により、より身近
なグループで少しでも現実の仕事に結び付く「勉強会の場」としていただく事を期待致します。

『 部 会 に 参 加 し て 』

アルト株式会社

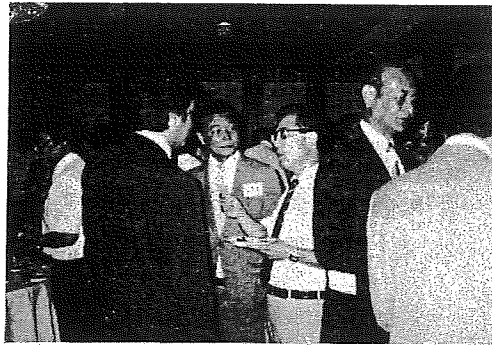
小輪瀬 征太郎（40・政経卒）

今年1月にホテル・グランドパレスにて開催されました建設不動産部会に初めて参加させて頂き多数の方々と名刺、情報等を交換させて頂きまして誠に有難うございました。

思えば、部会が設立されました時に入会させて頂いたものの入院等で今まで皆様との会合に参加できずにおりました不良会員ではございますが今後ともご指導の程よろしくお願い申し上げます。又、建設不動産部会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

求 む 情 報

1. 事務所用地
2. 50坪
3. 予算 3億円まで
4. 中央、千代田、港区内



小松建設工事㈱

押 田 哲 夫（43・農卒）

“部会の一年を振り返って。”

部会に入会した時は、すぐにも仕事面での情報交換を行いたいと考えた。しかし明大という母体はあるにしても多くの会員と初めて顔を合わせても仕事の情報を交換するまでになるには、ある程度の年月を掛けなければならないと思われた。昨年度は主に親睦に重点を置いて来たが、今後は、情報交換と、能力開発の勉強会的なものを進めて行きたいと思う。

部会に入って諸先輩方と話す機会に恵まれ、私にはこの1年間に多くの知人と色々な知識を吸収する事が出来た気がする。もしこのまま部会が発展して行けば、もしかすると、自分の仕事に関しても社外のアドバイザーや、コンサルタント的な存在として部会を活用させてもらえるのではないかと思う。

明大昭和会「建設・不動産部会」第2回総会のご案内

部会長 庄司光克
実行委員長 中村好一

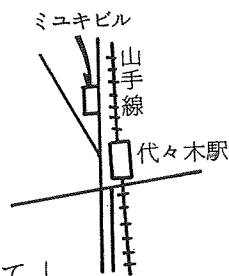
花の便りもあちらこちらから聞かれる季節になってまいりましたが、会員の皆様も相変わらず、御健勝の事と存じます。

当部会も創立総会、納涼懇親会、新年賀詞交換会を催し、一年が経過致しました。この間皆様の御協力により、会員同志の親交も深まり、情報交換も活発になってまいりました。しかしまだまだ不足でございます。この一年を基盤にして会報を利用しての情報交換の具体化に着手していかなければならないと思っております。2年目を迎え、当部会が益々発展しますよう会員の皆様の協力をお願い致します。

第2回総会を下記の通り開催致しますので、万障お繰り合せの上御出席下さいますようお願い申し上げます。

記

日時 4月23日(火)午後6:00
場所 代々木・ミュキビルホール(379-6671)
(代々木駅下車歩2分、国民相互銀行右隣り)
費用 2,000円
内容 一、演演「建設産業における異業種交流について」
建設経営センター 丸山藤夫氏(34・商)
一、懇親パーティー



※ 出欠のご返事を4/20迄にお願いします。

事務局 (370)8458 鈴木不動産内